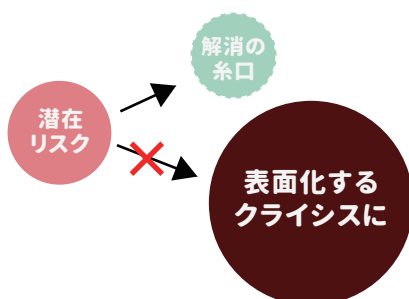


「社内ホットライン」 P.R.M.S. とは

～トラブルを小さなうちに、より良い職場環境のために～

▽ P.R.M.S.
Prior Risk Management Service



■ トラブルや不正から社員を守る

終身雇用が崩壊し、転職が当たり前の時代の到来と共に、自分の勤める会社への意識も大きく変化し、「苦労＝ブラック」と受け止める労働者の権利意識は益々強くなってきました。

「残業代未払」「ハラスメント」「うつ病」等が、ひとたび社内が発生すると、弁護士費用や慰謝料の支払いなど「**莫大な解決コスト**」が発生します。その金額や時間は想像を超える会社への負担となり、昨今では1件の労使トラブルで「**労務倒産**」となるケースが急増しています。

また、その様な権利を逆手にとり「**偽装や不正**」によって会社を訴える案件が近年問題視されています。

その被害者こそ、会社経営者であり、真面目に働く従業員の方々です。内部通報・匿名相談は、社内発生する「**トラブルの予兆**」を、いち早くキャッチしトラブルが発生する前に「**対策**」を打つ事が出来る、会社や従業員の方々の「**トラブルや不正から守る**」防衛システムです。

■ 「求人＝人材対策」から「離職防止＝人材対策」

労働力の減少により、人材確保は企業にとって最重要事項とも言えます。2010年以降、求人ビジネスが発達し年々求人コストは上がっています。

求人コスト例

人材紹介会社を利用し、面接によって1名採用：紹介料 600,000 円

労働力として実益確保までの研修期間 6 カ月：給与 200,000 円 × 6

社会保険・厚生年金・福利厚生費等 6 カ月：合計約 180,000 円

上記例で給与 200,000 円の人材を1名採用し、実質的労働力となるまで6カ月間人材投資を行うと、約 2,000,000 円必要となります。

例えばこの人材が6カ月で「辞めたいです・・・」なんて事になれば、会社は人材プラス求人コストも失う事になります。「**離職には必ず理由**」があります。

その理由が少しでも早く知る事が出来、改善する事が可能であったなら「**求人採用コストと離職損失を防ぐ**」事が出来ます。

導入前後の流れ

導入目的に合わせたヒアリング (経営者様及び人事担当者様)

導入に際してのヒアリングを行い、目的に応じた各社様専用のレスポンスフォームを作成します。



利用者への利用方法説明 (従業員様及び組織関係者様)

現場への導入がスムーズに行えるよう概要を記載した案内、QRコードの配布を行います。



サービススタート



月次報告 (担当者様へ収集意見の報告)

月ごとの意見・通報の内容をレポートにまとめ、担当者様へ月ごとに報告に上がります。



問題・環境の改善のご提案 (経営者様及び人事担当者様)

実際に問題が起こっている、または起こりえる場合などに連携の各士業調査機関へ斡旋などを行い、事実確認や対処等の提案をいたします。

